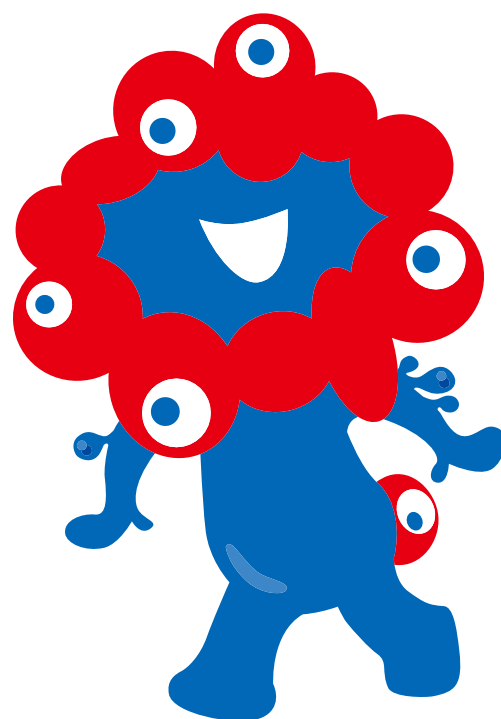




徳島県公式
マスコットキャラクター
すだちくん

いくぞ、
くるぞ、
徳島。
万博。



大阪・関西万博公式キャラクター
ミャクミャク
©Expo 2025

いよいよ本年4月13日に、大阪・関西万博が開幕します。

テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。世界中から160近くの国や地域、9つの国際機関が集まり、多彩なパビリオンや公式主催イベントを通じて、いろんな未来を体感することができます。

関西パビリオン内に出版する「徳島県ブース」では、伝統工芸やデジタル技術を駆使した展示やプロジェクションマッピングを展開。徳島ブランドの魅力や可能性を世界に発信します。

EXPO 2025 大阪・関西万博

開催期間 2025年4月13日(日)ー10月13日(月) 開催場所 大阪 ^{ゆめしま}夢洲

テーマ いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ Saving Lives(いのちを救う)

Empowering Lives(いのちに力を与える)

Connecting Lives(いのちをつなぐ)

コンセプト People's Living Lab(未来社会の実験場)

想定来場者数 約2,820万人

参加国数 158カ国(2024年12月現在)

大阪・関西万博HP アクセス・チケット購入など 詳しくはこちら



新時代へ
躍り出そう

令和7年2月号 No.448 発行：徳島県生活環境部県民ふれあい課 〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
TEL088-621-2095 FAX088-621-2862 E-mail our-toku@mail.pref.tokushima.lg.jp
人口 683,510人 男 326,947人 女 356,563人 世帯数 309,793世帯 [2025年1月1日現在]



「水とおどる」をテーマに、本県の魅力を世界に発信!



■伝統工芸の展示

阿波指物や藍染め、阿波和紙など、徳島が誇る伝統工芸が一体となってアートな空間を構成します。



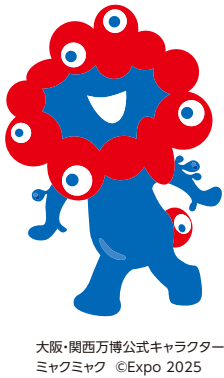
■未来に向けた展示

横からくりをモチーフにした県民参加型パネルや、本県ゆかりの人や企業の展示などを行います。



■プロジェクションマッピング

日本三大秘境のひとつ「祖谷のかずら橋」をはじめとする自然や観光資源、世界に誇る伝統芸能「阿波おどり」等がプロジェクションマッピングにより体感できます。



大阪・関西万博公式キャラクター
ミャクミャク ©Expo 2025



■徳島県ブースの
動画はこちら!



■徳島県ブース

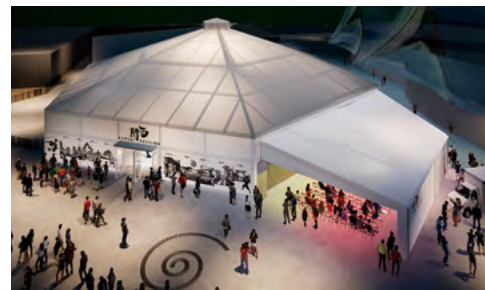


徳島の暮らしを支える吉野川。その流れは時に氾濫を起こしましたが、徳島の人々は、洪水が運んできた土砂を藍染料(すくも)づくりに上手に利用してきました。「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らな損々」という阿波おどりの掛け声からも感じられるように、しなやかに困難な状況を受け入れ利用することで、「新たな価値へと変えていく」徳島の有り様を「水とおどる」と表現し、空間デザインのテーマとしています。



■万博会場

世界最大級の「大屋根リング」が万博のシンボルです。(提供:2025年日本国際博覧会協会)



■関西パビリオン

(提供:関西広域連合)

徳島県ブースが入る関西パビリオンです。



●世界が踊る日

～多様性が織りなす踊りの輪 徳島の阿波おどり～

- 日時:2025年5月2日(金)、3日(土・祝)
- 会場:EXPOアリーナ「Matsuri」ほか

●徳島の子どもたちに教育旅行 入場チケットを支援!

徳島の未来を担う子どもたちに、新たな関心や学び、社会や自分の将来について考え、成長する機会を提供するため、万博への教育旅行における入場チケット料の支援を行います。

- 支援対象:県内の小学校、中学校、高校、特別支援学校、高等専門学校(1～3年生)のうち希望する学校
- 希望する学校は、万博推進課までお問い合わせください。

■県外在住者対象

●関西から500円で徳島へ

くろぞ万博。いくぞ徳島。ワンコインキャンペーン

「徳島県ブース来場者」に向けて「関西発⇒徳島着」の高速バス及びフェリーの「片道運賃を一律500円」とするキャンペーンを予定しています。

- 関西:大阪/兵庫/京都/和歌山
- 県外にお住まいのご家族・ご友人にぜひお知らせください!

[問]県万博推進課

☎088-621-2688 ☎088-621-2934



詳しくは
こちら

●徳島県ブースに携わるクリエイターの皆さんからのメッセージ



阿波指物

世界に誇る製品を開発

富永ジョイナー代表 富永 啓司さん

釘などの接合材を用いずに木を組み合わせて作る指物(さしもの)は、日本が世界に誇る伝統技術です。徳島では蜂須賀公が水路開拓を行ったことがきっかけで船大工の技術が発達し、やがて阿波指物の発展へとつながりました。万博では船底の部材として使われた地元の黒杉を用い、芸術性だけでなく耐腐食性や抗菌作用にも優れた作品を展示しますので、動画は
こちら



阿波和紙

47色の和紙に想いを込めて

アワガミファクトリー代表理事 中島 茂之さん

阿波和紙の伝統を唯一継承する当社では、伝統的な製造技術を守りながらも時代のニーズに合わせた製品開発を継続し、今では世界60カ国との取り引きがあります。万博では、全国の都道府県とのつながりを表現した47色の藍染め和紙を用い、伝統工芸の展示空間を彩る壁紙を制作しました。徳島県ブースでの体験を通じ、ふるさにと足を運ぶ方が増えることを願っています。動画は
こちら



阿波藍

地域と藍の結びつきを表現

Watanabe's代表取締役 渡邊 健太さん

サラリーマンから藍染めの世界に飛び込み、10数年にわたって想像以上に奥深い阿波藍の可能性を追い求めてきました。万博では、徳島の自然風土や日本人の精神性など、美しさだけではない阿波藍の魅力を伝えられるよう、他の作り手たちと共同作業を行っています。今回の万博を通じ、阿波藍や藍染めが、再び日常生活の中で愛される存在になってくれれば嬉しいです。動画は
こちら

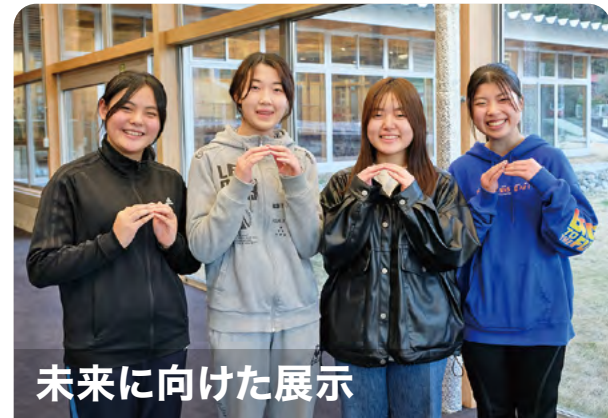


阿波藍

普遍的な美しさを求めて

藍染工房一草 (ISSO)代表 梶本 登基子さん

今回の万博では、薄い生地を17種類の藍色に染め、水中を思わせるような天井オブジェを制作します。本県の伝統文化に彩られた空間にたたずんだ方々が何かを感じ、いつの日か徳島に足を運ぶきっかけになれば嬉しいです。阿波藍の普遍的な色に魅せられてから30年近くになりますが、今後も生産者や藍師の方々に感謝しながら、時代が求める表現に挑戦していきます。動画は
こちら



未来に向けた展示

徳島での学びを深める機会に

神山まるごと高専のみなさん

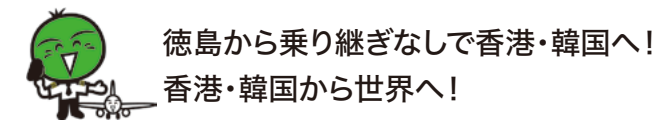
(左から) 藤原 六花さん 市川 珠莉南さん
菊井 福音さん 川島 千奈さん

世界中から人やモノが集う博覧会に参加させていただけることを、とても光栄に思います。メンバーそれぞれの視点や得意分野を活かし、一つの目標に向かって活動する日々は、徳島で学びながら起業を目指す自分たちにとって、かけがえのない経験になっています。移り変わる徳島の伝統文化が、未来へと結びつくイメージを表現できるよう力を合わせて頑張ります。動画は
こちら

■「徳島-香港」と「徳島-韓国」2つの直行便運行中!

■香港徳島観光商談会を開催しました。

■徳島ご当地タレント「はせちゃん」が香港に行ってきました!



徳島から乗り継ぎなしで香港・韓国へ!
香港・韓国から世界へ!

徳島香港直行便 週3便[月・水・土曜日]

徳島 16:20発 → 香港 20:05着
香港 10:50発 → 徳島 15:20着



徳島韓国直行便 週3便[火・木・土曜日]

徳島 13:05発 → ソウル(仁川) 14:50着
ソウル(仁川) 10:40発 → 徳島 12:15着



[問]県観光政策課 ☎088-621-2461 ☎088-621-2851



「徳島と香港」の国際定期便を利用したインバウンド誘客を図るため、香港で「観光商談会」を開催しました。県内観光関連事業者30社が香港旅行会社と熱心に商談を行い、徳島の魅力をPRしました。参加いただいた香港旅行会社からは「今後徳島のツアーを作りたい」と、前向きなお声を多数いただきました。

[問]県観光政策課

☎088-621-2340 ☎088-621-2851

はせちゃんが「徳島香港定期便」を利用して初の海外旅行! 旅の一部をご紹介します。



黄大仙[ウォンタイシン]

黄大仙という神様が本尊のパワースポットは観光客でいっぱい! 健康や安産祈願などのご利益があるそうで、たくさんの方でにぎわっていました。香港式のおみくじに挑戦しましたが、紙を引くのではなく、ちょっとしたコツが必要なおみくじでびっくり!



エッグタルト

香港の有名なスイーツといえばエッグタルト! 優しい甘さで、卵の風味がしっかりと感じられ、とろ〜りクリーミーなタルトでした。香港の中心地はイルミネーションで至る所がキラキラしていて、建物や交通機関などはカラフルなものが多くて華やか! まさに「眠らない町」という印象でした! 日本でも馴染みのあるお店や商品が想像以上にたくさんあるので、案外不安なく街歩きを楽しむことができる場所だと実感しました。時差も少ないため私のような海外初心者でもチャレンジしやすいですよ!

旅の詳しい
様子は
こちら



直木賞受賞！伊与原新さんの著書 徳島が舞台「藍を継ぐ海」

徳島県の南東部に位置する太平洋に面した町を舞台に繰り広げられる物語です。ウミガメの卵を孵化させ、自力で育てようとする徳島の中学生の女の子。田舎町で祖父と暮らす女の子と、黒潮に乗って太平洋を回遊するウミガメ。今日も日本のどこかで大切な何かを受け継ぐ人がいる…日本各地で起こる小さな奇跡。科学だけが気づかせてくれる大切な未来。5つの物語から成る短編小説集です。

●美波町長 影治 信良さんからのメッセージ

うみがめ博物館は今年リニューアルオープンします。その年にウミガメをモチーフにした小説が直木賞に輝いたことを町民とともに喜んでいきます。私たちは、人とウミガメとの共生や環境保護の歴史を、受賞作のテーマ「継承」のように長年大切に紡いできました。美波町を応援してくださる作品と感じています。



伊与原新『藍を継ぐ海』
(新潮社刊)



伊与原 新さん

歴史・文化ツーリズムで徳島の観光新時代へ

魅力ある徳島の歴史・文化を新たな観光資源として活用するため、県では観光事業者や関係団体とともに「歴史・文化観光推進プロジェクトチーム」を結成。県内のコンテンツや受入環境の課題点を共有し、旅行会社やDMOなどを通じた事業展開で観光客誘致を推進しています。

徳島ゆかりの戦国大名「三好長慶」

阿波出身の戦国武将・三好長慶は、日本の歴史に大きな影響を与えた人物です。室町幕府を支える有力大名・細川氏の重臣として畿内で力をたくわえ、やがて室町将軍をもしのぐ権力者へとのおぼろけを遂げました。県内には、長慶が誕生したとされる芝生城(三好市)や、弟の実休が本拠とした勝瑞城館(藍住町)など、三好氏ゆかりの史跡が数多く存在しています。

信長に先んじた天下人

三好長慶をNHK大河ドラマに！

近年では、県内の経済・観光経済団体や、近畿の県人会の尽力により、三好長慶を「NHK大河ドラマ」に誘致するための活動が行われています。徳島が誇る歴史・文化を全国に発信する大きなチャンスを掴めるよう、皆さんもぜひ応援してください。



三好長慶©ヤマザキミコ

●三好長慶の「NHK大河ドラマ誘致」を推進する方々のメッセージ

■一丸となって大河ドラマ誘致へ

三好長慶NHK大河ドラマ誘致推進協議会(関西)会長
へんみ きみお
邊見 公雄さん

三好長慶は私の出身地である三好市の芝生城出身で、織田信長よりも先に天下統一を果たした素晴らしい方であるのにあまり知られていないというところを知り会長を引き受けました。生誕500年目を迎えた2022年には、NHK会長に要望書を提出するなど大河ドラマ誘致のための働きかけを行っております。徳島県も国際定期便が就航し、関西万博が開催されるなど、観光誘客のこの機会に三好長慶のゆかりの地に海外からも訪れるよう推進していきます。



動画はこちら

■徳島の魅力や存在感を高めたい

徳島県人会近畿連合会会長
きおか きよし
木岡 清さん

映画やドラマの舞台となった県などでは観光客が増加しており、徳島でも三好長慶が大河ドラマになれば観光誘客に繋がると活動を進めています。三好長慶が天下統一できた要因のひとつとして、人を大切にする人柄からと言われています。徳島県も教育に特化した施策により全国から人を呼び込むことで関係人口の増加に繋げるなど、徳島の魅力度を高め、より存在感のある県になってほしいと願っています。



動画はこちら

■三好長慶を全国に広く発信中

顕本寺 住職
すがはら ぜんりゅう
菅原 善隆さん

顕本寺は、三好長慶の父である元長とゆかりが深く、元長忌という歴史イベントを毎年開催しています。日本の歴史の中でも戦国時代は特に人気が高く、戦国初の天下人と言われる三好長慶がクローズアップされることは歴史的にも大きな意義があります。今後もYoutube配信やオンライン講座などを通じ、その魅力を全国に発信していきますので、徳島の皆さんも応援していただければ嬉しく思います。



動画はこちら

[問] 県観光政策課 ☎088-621-2342 ☎088-621-2851・県関西本部 ☎06-6251-3273 ☎6251-3380



ふるさと発見！あわっ子文化大使通信

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のレポートです。



江戸から令和へ 圧巻の藤棚！

●あわっ子文化大使リポーター
石井町高浦中学校 2年
こすぎ ひなた
小杉 日陽 さん

僕が住んでいる石井町では、4月の15日頃から約2週間、地福寺・童学寺・徳蔵寺の各お寺で「藤まつり」があります。期間中には多くの人々が訪れ、賑わいます。

以前地福寺を訪れた時に、副住職の一宮浩真さんが仰っていたのは、地福寺には2種類の藤棚があり、江戸時代に植えられた樹齢200年以上の紫藤と、明治時代に植えられた樹齢100年以上の白藤があり、これらの藤は、もともとは山に生えていた野生の藤を持ってきたらしいとの事でした。お話の中で、戦時中には枝を切って幹だけにし、花が咲かないようにしていたことや、幹の周囲を畑にして食べ物を作っていたことなどを教えてもらいました。



地福寺 提供

自分の町を調べる中で、思いがけず戦争とのかかわりも知ることになりました。皆さんにもこの地福寺で藤の美しさを味わっていただくとともに、藤の歴史を知り平和への思いを共に感じていただけると嬉しいです。

●皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。
県義務教育課 ☎088-621-3054 ☎088-621-2882

プロスポーツを応援しよう

●徳島ヴォルティス



試合日程

●徳島インディゴソックス



新着情報

●徳島ガンパロウス



試合日程

駐車場には限りがありますので、公共交通機関(JR・路線バス等)、自転車、徒歩でご来場にご協力ください。



とくしま特選ブランド クイズ&プレゼント

Q 徳島ゆかりの戦国大名は「〇〇長慶」。
〇〇に入る文字は何でしょうか。

●プレゼント 蔵のまんま 甘つぶ

抽選で5名様

[提供] ヤマク食品株式会社

国産原料100%で米・大豆・食塩のみで仕込んだ、蔵出しそのままの赤系甘口の米味噌です。お米のもつ甘みとコクが味わえるのが特徴的なお味噌です。

●応募方法 答え、住所、氏名、年齢、感想、取り上げて欲しいテーマなどを記入の上、はがき、Eメール(宛先は表紙下部に記載)、または県公式LINEのメニューから応募ください。

●応募締切 2月26日(水) 必着

1月号の正解は「韓国」でした。



応募はこちら

あわとくVOICE

- 徳島の今とこれからがわかった。(10代)
- 前向きな記事がたくさんあり、希望を感じました。(50代)
- 阿波のいとこ煮懐かしいです。最近は見かけなくなりましたが若い人に受け継がれていて嬉しいですね。(60代)

徳島県ホームページ



徳島県チャンネル



徳島県公式 X(旧Twitter)



徳島県公式 Facebook



徳島県公式 LINE



徳島県公式 Instagram



広報紙Web版



県民目安箱



点字版広報紙や声の広報をご希望の方は、
視聴覚障がい者支援センターへ

☎088-631-1400 ☎088-631-1500